

令和4年度事業報告

(1) 配合飼料価格差補てん事業（事業対象年度：令和3年度～令和6年度）

配合飼料価格の変動が及ぼす畜産経営の影響を緩和するため、配合飼料価格安定制度の下、制度加入生産者及び一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金（以下「全日基」という。）と価格差補てん事業に必要な年度当初における数量契約、通常補てん積立金等に付随する業務、及び補てん金交付業務を実施した。

ア 価格差補てん契約の締結並びに解約動向（令和4年度）

当初契約		期間中における増減内容				
128,917 トン（163 戸）		期 別	件数	増数量	解約数量	事 由
乳用牛	11,706 トン(56 戸)	第1四半期	—	—	—	①廃業 (2)
肉用牛	21,639 トン(84 戸)	第2四半期	—	—	—	
豚	14,968 トン(8 戸)	第3四半期	—	—	—	③基金間移動 (—)
採卵鶏	12,879 トン(8 戸)	第4四半期	2	—	1,240	
肉用鶏	67,725 トン(7 戸)	計	2	—	1,240	④その他 (—)

(参考) 令和5年度契約数量 124,764 トン 契約件数 168 戸)

(参考) 加入者及び契約数量の推移

年 度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
加入者数(人)	181	172	163	157	163
契約数量(t)	122,873	129,249	126,163	129,934	128,917

イ 基金間移動に伴う契約状況（該当なし）

契約数量の 増 減	内 訳			
	増		減	
—	—トン (—名)	—	—トン (—名)	—

ウ 通常補てん生産者積立金の徴収及び納付

区 分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	合 計
契約数量(トン)	31,982	30,770	33,327	31,598	127,677
積立単価(円)	600	600	600	600	—
積立金(円)	19,189,200	18,462,000	19,996,200	18,958,800	76,606,200

※ 積立金単価 1,800 円/トン（生産者 600 円/トン、メーカー 600 円/トン+特別積立 600 円/トン）

エ 別途納付積立金の徴収及び納付（該当なし）

区 分	件 数(件)	納付金単価(円/トン)	対象数量(トン)	別途納付金額(円)
新規加入者	—	—	—	—

オ 価格差補てん金の交付

期 別	補てん金単価 (円)			対象数量 kg	補てん金額 (円)			
	通常	異常	合計					
R3	第4四半期	5,200	3,451	1,749	29,590,744	102,117,629	51,754,185	153,871,814
R4	第1四半期	9,800	5,039	4,761	30,005,677	37,867,136	142,856,997	180,724,133
	第2四半期	16,800	5,454	11,346	28,435,415	76,591,417	322,628,177	399,219,594
	第3四半期	7,750	7,254	496	30,706,827	136,011,736	15,230,555	151,242,291
	第4四半期	(950)	(623)	(327)	(補てん発動が決定された)			

※1 R3 第4四半期は一部返還後の数値 (返還: 1件、594,000kg、3,088,800円 (R4.5月返還))

※2 R4 第1四半期は追加交付後の数値 (追加: 1件、6,760kg、40,717円 (R4.9月追加交付))

※3 R4 第1~3四半期の通常補てんは分割交付が行われ、実際の交付単価は下表のとおり

(参考) 価格差補てん金の分割交付 (令和4年度)

(単位: 円/トン)

区 分		令和4年度				実際の交付単価 (目安) (※それぞれ交付対象数量が異なるため、目安となる。)		
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
本来の 交付単価	合計	9,800	16,800	7,750	(950)			
	異常補てん金	4,761	11,346	496	(327)			
	通常補てん金	5,039	5,454	7,254	(623)			
-		5,039円を 分割 ↓	5,454円を 分割 ↓	7,254円を 分割 ↓	一括交付	通常	異常	合計
通常補てん の分割交付 単価	R 4 年 度	第1四半期交付	1,262			1,262	4,761	6,023
		第2四半期交付	1,259	1,365		2,624	11,346	13,970
		第3四半期交付	1,259	1,363	1,815	4,437	496	4,933
		第4四半期交付	1,259	1,363	1,813	(623)	5,058	327
	R 5 年 度	第1四半期交付		1,363	1,813	3,176		3,176
		第2四半期交付			1,813	1,813		
		第3四半期交付						
		第4四半期交付						

※ 令和4年度第3四半期分交付時点

(2) 畜産環境整備機構リース事業 (畜産高度化支援リース事業)

リース事業に係る既存貸付施設の貸付料徴収、保険更新手続き等を行った。

令和4年度における貸付案件はなかった。

(3) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業 (事業対象年度: 令和2年度~令和6年度)

指定協会 (公益社団法人鳥取県畜産推進機構) からの事務委託を受け、個体登録関係書類の受理・送付、生産者積立金の徴収等を行った。

なお、令和4年度は登録頭数、積立金、生産者補給金の交付実績は次のとおり。

ア 肉用子牛個体登録頭数 (令和4年 (1月~12月))

区 分	黒毛和種	交雑種	乳用種	合 計	備 考
登録頭数(頭)	55(47)	405 (414)	889 (1,003)	1,349 (1,464)	事業参加者4名

※ ( ) は前年度数値

イ 生産者積立金の状況（令和4年度）

区 分	積立単価（円/頭）			対象頭数 （頭）	生産者積立額 （円）	
	国 1/2	県 1/4	生産者 1/4			
黒毛和種	1,600	800	400	400	64	25,600
交雑種	3,200	1,600	800	800	405	324,000
乳用種	6,800	3,400	1,700	1,700	862	1,465,400
合 計	—			—	1,331	1,815,000

ウ 交付金の交付状況（令和4年1月～令和4年12月）

期 別	品 種	生産者数(戸)	交付頭数(頭)	交付単価(円)	交付金額(円)
1月～3月	肉専用種	—	—	—	—
	交雑種	—	—	—	—
	乳用種	—	—	—	—
4月～6月	肉専用種	—	—	—	—
	交雑種	—	—	—	—
	乳用種	—	—	—	—
7月～9月	肉専用種	—	—	—	—
	交雑種	—	—	—	—
	乳用種	2	254	14,500	3,683,000
10月～12月	肉専用種	—	—	—	—
	交雑種	—	—	—	—
	乳用種	2	279	36,600	10,211,400

(4) 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業対象年度：令和4年度～令和6年度）

指定協会（公益社団法人鳥取県畜産推進機構）からの事務委託を受け、個体登録関係書類の受理・送付、生産者積立金の徴収及び納付等を行った。

ア 肥育牛個体登録頭数（令和4年度）

区 分	黒毛和種	交雑種	乳用種	合 計
登録頭数（頭）	108 (109)	648 (455)	1,416 (1,344)	2,172 (1,908)

※（ ）は前年度数値

イ 生産者積立金の状況（令和4年度）

区 分	積立単価（円/頭）			対象頭数（頭）	生産者積立額（円）	
	国 3/4	県 1/12	生産者 1/6			
黒毛和種	76,000	57,000	6,330	12,670	115	1,457,050
交雑種	76,000	57,000	6,330	12,670	777	9,816,590
乳用種	76,000	57,000	6,330	12,670	1,663	21,064,880
合 計	—			—	2,555	32,338,520

ウ 交付金の交付状況 (令和4年1月～令和4年12月)

期 別	品 種	生産者数(戸)	交付頭数(頭)	交付単価(円)	交付金額(円)
1月	肉専用種				
	交雑種				
	乳用種	4	82	50,295.6	4,124,238
2月	肉専用種				
	交雑種	5	36	12,519.9	450,714
	乳用種	4	101	51,054.3	5,156,482
3月	肉専用種				
	交雑種				
	乳用種	4	129	50,246.1	6,481,745
4月	肉専用種				
	交雑種				
	乳用種	3	114	39,903.3	4,548,974
5月	肉専用種				
	交雑種				
	乳用種	3	115	42,264.9	4,860,462
6月	肉専用種				
	交雑種	6	49	30,939.3	1,516,023
	乳用種	4	120	43,892.1	5,267,051
7月	肉専用種				
	交雑種	6	50	34,163.1	1,708,152
	乳用種	4	127	38,371.5	4,873,179
8月	肉専用種	4	9	59,237.1	533,133
	交雑種	6	41	43,261.2	1,773,707
	乳用種	4	126	44,452.8	5,601,052
9月	肉専用種	3	8	49,878.0	399,024
	交雑種	6	54	21,557.7	1,164,113
	乳用種	4	117	40,458.6	4,733,654
10月	肉専用種	3	7	70,182.0	491,274
	交雑種	6	50	10,291.5	514,574
	乳用種	4	105	43,010.1	4,516,058
11月	肉専用種	4	12	29,381.4	352,575
	交雑種	6	78	1,765.8	137,730
	乳用種	4	130	36,964.8	4,805,423
12月	肉専用種	4	7	10,076.4	70,533
	交雑種				
	乳用種	4	157	49,166.1	7,719,076
合 計	肉専用種	5	43		1,846,539
	交雑種	6	358		7,265,013
	乳用種	4	1,423		62,687,394
	計		1,824		71,798,946

(前 年)

(1,659)

(57,521,177)

(5) 肉豚経営安定交付金制度（事業年度：令和3年度～令和5年度）

生産者2名から事務委託を受け、申請書等関係書類の作成支援及び受理、独立行政法人農畜産業振興機構への書類送付、連絡調整等の事務を行った。

令和4年度は、交付金の交付実績はなかった。

ア 生産者積立金の状況（令和4年度）

区 分	積立単価（円/頭）			対象頭数（頭）	生産者積立額（円）	
	国 3/4	県 1/12	生産者 1/6			
第1四半期	1,600	1,200	133	267	615	164,205
第2四半期	1,600	1,200	133	267	620	165,540
第3四半期	1,600	1,200	133	267	655	174,885
第4四半期	1,600	1,200	133	267	660	176,220
合 計	—			—	2,550	680,850

※1 積立金の負担割合：国3/4、県1/12、生産者1/6

イ 交付金の交付状況（令和4年度）

令和4年度は、交付金の交付実績はなし

(6) 畜産振興事業（配合飼料高騰対策等）

配合飼料高騰対策等、国、県等の事業が実施され、補助金、特別補てん金の交付等、関連事務を実施した。

ア 配合飼料価格高騰緊急特別対策事業（国事業）

配合飼料価格安定制度による価格差補てん金とは別に、生産コスト削減等に取り組む生産者に、令和4年度第3四半期の価格差補てん金対象数量に対して1トン当たり6,750円の特別補てん金を交付する事業。

当基金協会は、生産者の参加申込の取りまとめ、特別補てん金交付、取組み実績の取りまとめ等を行った。

① 特別補填金交付実績（R5.2.24 交付）

対象者数	交付対象数量	交付単価	特別補填金額
157名	30,490,827kg	6,750円/ト	205,813,078円

② 事業推進指導費（通信運搬費等）

92,721円

イ 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業（（独）農畜産業振興機構事業）

肉用子牛の価格下落時に、品種ごとに発動基準を下回った場合に奨励金を交付する事業。

当基金協会は、事業実施主体の公益社団法人鳥取県畜産推進機構の事務委託を受け、事業参加申込書の提出、子牛販売関係資料の提出等を行った。

当基金協会所轄の事業参加者は4戸であった。

奨励金は事業主体から直接生産者に交付され、交付実績は8月（1件、乳用種3頭、90,000円）、9月（1件、乳用種1頭、30,000円）であった。

ウ 畜産経営緊急救済事業（鳥取県単独事業）

鳥取県単独の配合飼料高騰対策として、県内畜産農家に対し畜種別の支援策が実施され、予算総額は875,700千円であった。

当基金協会では当該事業のうち、「養鶏経営支援」を事業主体として実施。

事業内容は、令和4年度配合飼料価格安定制度の生産者積立金の1/2補助。

県からの補助金を受け入れ、基金加入者（養鶏）13者に補助金を交付した。

① 生産者補助金

区 分	契約数量(トン)	積立金(@600円)	県補助金(@300円)
第1四半期	19,962トン	11,977,200円	11,691,900円
第2四半期	19,011トン	11,406,600円	
第3四半期	20,940トン	12,564,000円	6,282,000円
第4四半期	20,691トン	12,414,600円	6,207,300円
合 計	80,604トン	48,362,400円	24,181,200円

② 事務費（旅費、振込手数料等）

78,400円